

平成27年度小野市（普通会計）

バランスシート（小野市の資産と負債の状況）

平成27年度末の市民1人あたり

資 産	166万5千円（対前年度比 3千円減）
負 債	44万1千円（対前年度比 1万1千円減）
純 資 産	122万4千円（対前年度比 8千円増）

バランスシートは民間企業の財務諸表の1つで、市が所有する資産や負債の状況を示すために作成し、その結果がとりまとまりました。

平成27年度末のバランスシートは、総務省方式改訂モデルで作成した結果、取得、建設した土地、建物などの資産合計は818億6,923万円となりました。売却可能資産の整理等により前年度から6億9,774万円の減となっています。負債合計は216億6,280万円で、建設事業に係る地方債の発行抑制により地方債残高が減少したことなどに伴い、前年度から7億3,412万円減りました。資産から負債を差し引いた純資産は602億643万円となり、前年度から3,638万円の増となりました。

資産の内訳では、土地や建物、道路などの整備費を積み上げた有形固定資産が700億2,624万円、売却可能資産が9億5,984万円で、公共資産合計で全体の86.7%を占めています。

また、有形固定資産の中では、道路や公園などの生活インフラ・国土保全費が375億4,308万円、小・中学校の校舎などの教育関係費が199億989万円とその大半を占めています。

負債は、地方債や退職手当引当金等を合わせた固定負債が196億55万円、流動負債として地方債の平成28年度償還予定額が17億8,619万円となっています。

これを市民1人あたりのバランスシートでみると、市民1人あたりの資産は166万5千円、負債は44万1千円となり、純資産は122万4千円となりました。